

令和3年度 第1回市川市史編さん委員会 会議録

令和3年11月24日（木）18時15分～19時10分

第2庁舎 4階 大会議室1

出席者：杉原委員、吉村委員、村田委員、
米屋委員、朽木委員、山崎委員

事務局：小林課長、米田館長、
浅井、長島、伊東、笠川

課長 ただいまより、令和3年度 第1回市川市史編さん委員会を開催いたします。
会議に先立ちまして、定足数の確認をいたします。ただいまの出席委員は、委員8名中6名であり、市川市史編さん委員会条例第6条2項に規定する開催要件である、過半数委員の出席を満たしておりますことを確認いたします。
なお、本審議会にあたりましては、本市の審議会等の会議の公開に関する指針により、原則公開となっております。本日の議題の中で非公開とする内容ではありませんので、公開となりますが、よろしいでしょうか。

・・・異議なし・・・

課長 また、会議録の作成につきまして、従前どおりの方法でよろしいでしょうか。

・・・異議なし・・・

課長 本日は、傍聴者はいらっしゃいません。会議を進めさせていただきます。

課長 議題に入る前に、「会議次第1. 委員長、副委員長の互選」を行います。委員長、副委員長の選出につきまして、市川市史編さん委員会条例第5条の規定により、委員の皆様の中からの互選となっております。どなたかご推薦をお願いいたします。

杉原委員 前委員会に引き続き、吉村委員にお願いしたいと思います。

課長 ただ今、杉原委員より、吉村委員とのご発言がございました。他にご推薦がなければ、吉村委員に委員長をお願いすることよろしいでしょうか。

・・・委員の了承・・・

課 長 吉村委員、「委員長」をお引き受けいただけますでしょうか。

吉村委員 お引き受けします。

課 長 ありがとうございます。
委員長は吉村委員を選任することに決定いたしました。吉村委員長、恐れ入りますが、議長席に移動をお願いいたします。

課 長 では、ここで、吉村委員長よりご挨拶を頂戴したいと思います。
また、これ以降の議事進行は、当委員会条例第6条の規定により、吉村委員長に議長をお願いしたいと存じます。
吉村委員長、よろしくをお願いいたします。

議 長 再任ということで、これまで通りよろしく申し上げます。
それでは、引き続き会議を進めます。
次に「副委員長の互選」ですが、前年度から継続して米屋委員にお引き受けいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

・・・委員の了承・・・

議 長 米屋委員、「副委員長」をお引き受けいただけますか。

米屋委員 はい。お引き受けします。

議 長 ありがとうございます。引き続き、よろしくをお願いいたします。

議 長 続きまして、議題の「第1巻、第2巻について」に入ります。
事務局より説明をお願いします。

課 長 「第1巻、第2巻について」、事務局よりご説明申し上げます。議題資料1.「刊行計画」をご覧ください。
本件は、第1巻、第2巻の刊行年度に関する議題となります。
第1巻の刊行年度につきましては、昨年度の編さん委員会において、令和2年度から令和3年度に変更することを諮問いたしました。このことにつきましては、コロナ禍により執筆・編集業務の進捗に影響が生じたことによる変更として、やむを得ないのご意見を多くいただき、変更は妥当であるとの答申を頂いたところでございます。

その後、委員会での答申を受けまして、今年度の刊行にむけ執筆・編集業務を進めて参りましたが、現在、入稿前の調整に時間を要している原稿があり、年度内に刊行する見込みが立てられない状況となっております。

第1巻は共同執筆をお願いしている章・節が多くございます。これらの原稿に関しまして、節ごとに調整事項の整理および会議の開催により内容の調整を進めております。

時間を要する作業ではございますが、執筆者皆さまの合意を得た上で原稿を完成させるためには大切な工程であると考えております。そのため、今年度中は引き続き原稿調整を行い、本書の刊行は来年度に変更することについて、ご検討いただきたいと存じます。

次に、第2巻の刊行年度についてです。

第2巻につきましては、本年度の刊行に向け、令和2年度より執筆・編集を進めて参りました。しかしながら、第1巻編集の進捗が第2巻の進捗にも影響を及ぼしており、現在、執筆および原稿調整に遅れが生じているところでございます。

具体的には、第2巻では考古・古代から近世までの幅広い時代を扱っており、このうちの一部に、遅れております第1巻と重なる時代・分野があることから、第1巻の進捗の遅れに連動する形で第2巻の進捗にも遅れが生じているという状況でございます。

こうした状況により、今年度中に刊行する見込みが立たないため、第2巻につきましても、刊行時期を令和4年度に変更することをご検討いただきたいと存じます。

議題のご説明は以上となります。

ご審議のほどお願い申し上げます。

議長 　ただ今、事務局より第1巻および第2巻の刊行年度をともに来年度に変更することについて、説明がありました。
はじめに、第1巻の刊行年度を令和4年度に再延期することについて、発言をお願いいたします。

杉原委員 　来年度に伸ばしても発刊できるか危惧しています。資料集めは事務局に行ってもらいましたが、原稿の調整があまり進んでいないという状態があります。進捗状況について事務局から説明してほしい。

事務局 　1巻の特に2章については原稿調整に時間がかかっています。何とか来年度中に刊行したいと思っています。

杉原委員 　原稿調整の過程で、執筆者より原稿がなかなか返ってこない状況があります。すでに執筆者は決定しているため、変更はできないと事務局

から聞きました。

議 長 状況は理解しました。
今日の議題に照らして言えば、第1巻の刊行の延期は仕方がないという
ことですね。

杉原委員 はい。ただし、来年度にできるかどうか心配しています。

議 長 続いて村田委員。

村田委員 これは刊行を延ばすしかない。刊行を延ばしてでもきちんとすべきだ
と思います。

朽木委員 事情は色々あるかと思いますが、今年度刊行できないということは事
実かと思いますが。(今年度中には)刊行できないということですので、
延ばすことに異議はありません。

米屋委員 私も同じ意見です。だが、(刊行時期を)延ばし続けてよいかというこ
とは疑問です。今後、議論しなければいけない問題であると思います。
事情は了解しました。

山崎委員 止むを得ないと思います。少々無理をしても、できるだけ早く正確な
ものを望みます。

議 長 第1巻の刊行延期について、ご発言をいただきました。私自身も同じ意
見です。1年間延ばすということでもいいでしょうか。

．．．委員の了承．．．

議 長 続きまして、第2巻の刊行年度を令和4年度に延期することについて、
事務局から現況を教えてください。

課 長 先ほどの繰り返しになってしまいますが、第2巻では考古～古代から
近世まで幅広い時代を扱っており、この一部に第1巻と重なる部分
があり、1巻の見通しが見つからないと2巻に取り掛かれな
ないということが
あります。

杉原委員 2巻も1巻と同じ状況が起きるのではないかと思います。

議 長 2巻も延ばすという意見でよろしいでしょうか。

杉原委員 はい。

村田委員 中世・近世の部分は進んでいると思いますが、それでもかなり遅れています。今年度中の刊行というのは、やはり難しいので、来年度に何とか間に合わせなければと思っています。

朽木委員 1巻との兼ね合いということは理解できますし、調整に時間がかかるのもやむを得ないので、延ばしてしっかりと調整をしていくことは妥当ではないかと思っております。

米屋委員 延期は止むを得ないと思います。1年延期することはやむを得ないが、各巻での詰めを執筆者で議論してもらいたい。

山崎委員 (米屋委員と) 同じです。

議 長 それでは第2巻についても1年間刊行延期とするということで決定してよろしいでしょうか。

・・・委員の了承・・・

議 長 それでは第2巻の刊行を1年間延期することが妥当と決定します。なお、分野間の共通理解を得るべき項目について、研究会などを行う必要があるかと思えます。それでは、本日の議題についてはこれで終了といたします。